エコアクション21

環境経営レポート

®環境省
エコアクション21
認証番号0012136

令和6年度

活動期間：令和6年5月1日～令和7年4月30日

令和7年8月31日作成

千葉美装株式会社

目次

Ⅰ．　環境方針 …… 2

Ⅱ．　組織概要

1　組織の概要 …… 3

2　登録申請の範囲 …… 4

3　エコアクション21推進組織 …… 5

4　許可内容 …… 6

5　施設等の概要 …… 7

6　中間処理施設概要 …… 8

7　中間処理の概要（木質チップ　再資源化フロー） …… 9

8　中間処理の概要（再生砕石RC40-0　再資源化フロー） …… 10

Ⅲ．　環境経営目標

9　環境経営目標（令和5度～令和7年度） …… 11

10　令和6年度　活動実績と評価 …… 12

11　環境活動計画（令和5度～令和7年度） …… 13

12　環境活動結果 …… 14

Ⅳ．　取組結果とその評価

13　環境への取組の自己チェック結果 …… 15

14　環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …… 15

15　社長による全体評価と見直し …… 16

Ⅴ．　地域貢献活動等結果 …… 17

16　地域貢献活動

17　エコアクション21感謝状

18　労働安全特別賞

19　ごみゼロ運動新聞掲載

環境方針

千葉美装株式会社は、限りある資源の有効活用と地球温暖化対策に取り組むことが経営の最重要課題であると考えています。それらの構築に重要な役割を担っている企業であることを認識し、課題とチャンスを踏まえて、一般廃棄物、産業廃棄物の収集・運搬業や中間処分業を通して廃棄物の再生使用と資源化を促進すると共に産業廃棄物の最終処分量の削減を図ることによって、経営の継続的改善と環境保全に努め、循環型社会の形成に貢献します。

1.環境循環型社会の実現に貢献します。

再資源化の推進（質・量・品質の向上）
廃棄物の分析・適正処理の推進
環境に配慮した技術・製品の導入
グリーン購入の推進

2.低炭素社会の実現に貢献します。

二酸化炭素排出の低減
水使用・一般廃棄物排出の低減

3.地域や社会に根差した環境活動を推進します。

地域住民に配慮した事業活動

4.環境活動の推進体制を充実します。

環境法規制等の遵守
環境データの管理・報告体制の強化

この環境方針は全従業員に周知し、また公表します。

制定日：平成30年6月15日
改定日：令和元年5月1日

千葉美装株式会社
代表取締役　白幡 進

1.組織の概要

（1）名称及び代表者名	名　称	千葉美装株式会社	
	代表者	代表取締役　白幡　進	
（2）設立年月日	昭和57年11月17日		
（3）資本金	1,000万円		
（4）売上高	約64,000万円（令和6年度）		
（5）所在地	本社	6名	千葉県南房総市荒川1379番地1
	エコRCセンター	16名	千葉県南房総市荒川1379番地1
	エコウッド	5名	千葉県安房郡鋸南町奥山662-1
（6）事業内容	産業廃棄物収集運搬業　産業廃棄物中間処分業		
	一般廃棄物収集運搬業　一般廃棄物中間処分業		
	再生砕石及び木質チップ販売		

（7）事業規模	収集運搬量	20,286㌧	
	中間処理量	79,573㌧	※産廃79,203t＋一廃370t
	再資源化量	76,667㌧	
	最終処分量	2,536㌧	

（８）環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者兼担当者	営業部長　酒向　勝彦
連絡先	TEL0470-58-0161　FAX0470-58-0625
E-mail	bisou.sako@ymsn.biz

（9）会社の沿革

当社は昭和57年１１月千葉美装有限会社として設立され、平成６年、産業廃棄物収集運搬業許可を取得。その後、事業拡張の為、平成１２年産業廃棄物処分業の許可を取得する一方、鋸南町、南房総市、館山市の一般廃棄物収集運搬業及び処分業の許可を取得し、地域に根差した経営をしてまいりました。更なる、業務の拡大をすべく、平成１８年８月に株式会社へ称号変更、産業廃棄物処理を主力に、再生砕石とチップの販売も手掛け、平成30年10月エコRCセンター事務所を増床。令和元年５月本社をエコRCセンター内へ移転、現在に至る

2.登録申請の範囲

（1）対象範囲　：　本社・エコRCセンター・エコウッド
（2）事業範囲　：　産業廃棄物収集運搬業及び中間処分業、一般廃棄物収集運搬業及び中間処分業
再生砕石及び木質チップ販売

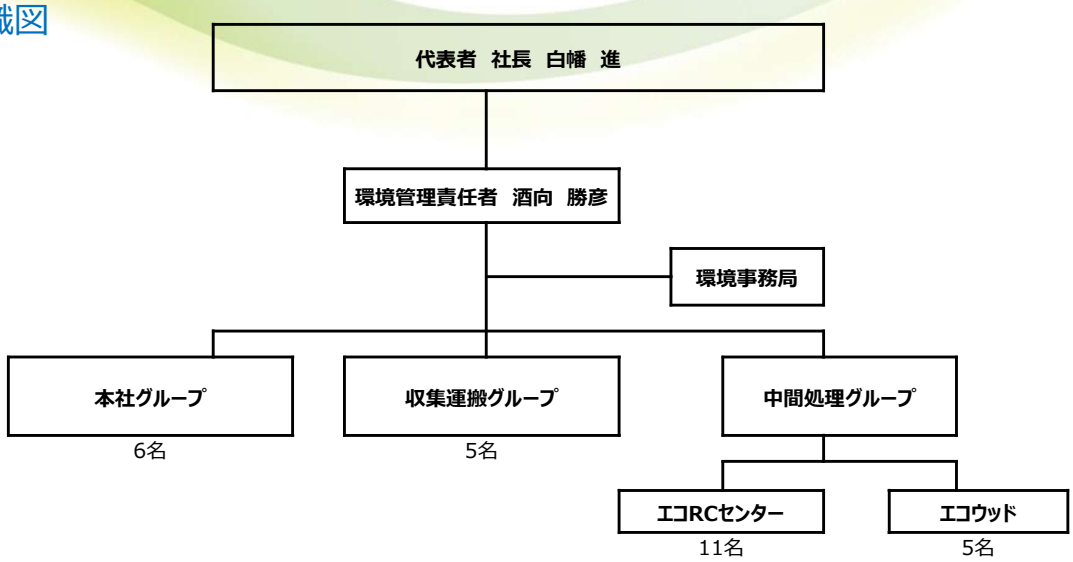
本社・エコRCセンター

中間処理・再資源化一貫処理システム

エコウッド

3.エコアクション21推進組織

（1）組織図



（2）責任と権限

役割・責任・権限	
代表者（社長）	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・EA21の実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ
	・環境目標・環境活動計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境活動レポートの取りまとめ及び確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
本社グループ	・本社業務における事務的管理及び実績管理
	・電力、廃棄物量削減管理
	・本社発着収集運搬業務及び清掃業務指示
収集運搬グループ	・収集運搬業務に関する現場指揮及び実績管理
	・配車指示、収集運搬作業及びEA21活動現場現場責任者
	・省燃費運転推進管理
中間処理グループ	・中間処理業務に関する現場指揮及び実績管理
	・各処分場の事務、作業管理、指導及びEA21活動現場現場責任者
	・省燃費、省電力管理
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.許可の内容

産業廃棄物処分業の許可内容

発行者	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業範囲	廃棄物の種類						
				中間処理	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類
千葉県	第01220017410号	令和2年9月7日	令和7年9月5日	エコRCセンター	○	○		○	○	○	○
				エコウッド			○				

（注）処理方法　破砕：がれき類、廃プラ、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
圧縮：廃プラ、紙くず、繊維くず

産業廃棄物収集運搬業の許可内容

発行者	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類								
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類
千葉県	第01210017410号	令和6年7月17日	令和13年4月21日		○	○	○	○	○	○	○	○	○
				石綿含有産業廃棄物含む			○					○	○

（注）石綿含有産業廃棄物の積替保管
廃プラスチック類　積替保管面積　2㎡　最大保管量　2.2㎥
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　積替保管面積　7㎡　最大保管量　8㎥
がれき類　積替保管面積　5㎡　最大保管量　5.8㎥

一般廃棄物関係の許可内容

許可区域	種類	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類
鋸南地区	一般廃棄物収集運搬業	（7）第6号	令和7年6月26日	令和9年6月30日	一般廃棄物（ごみ）
館山市	一般廃棄物収集運搬業	第730号	令和6年3月13日	令和8年3月31日	一般廃棄物
南房総市	一般廃棄物収集運搬業	第27号-26	令和6年2月29日	令和8年3月31日	一般廃棄物（事業系一般廃棄物・一時多量家庭ごみ）
鋸南地区	一般廃棄物処分業	（6）第7号	令和6年5月22日	令和8年5月31日	木くず（一般廃棄物）

（注）一般廃棄物処分業は中間処分：処分方法：木くずは破砕

一般貨物自動車運送事業の許可内容

許可者	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	種類
関東運輸局	関自貨第1834号	平成18年12月21日	定めなし	一般貨物自動車運送事業

一般建設業の許可内容

許可者	種類	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃棄物の種類
千葉県	土木工事業	（般-3）第35289号	令和3年8月17日	令和8年8月4日	とび・土工工事業
千葉県	解体工事業	（般-3）第35289号	令和3年8月17日	令和8年8月4日	

5.施設等の状況

	本社・エコRCセンター	エコウッド
従業員数	22名	5名
敷地面積	5,025㎡	4,183㎡

車種	台数
４ｔパッカー車	1台
２ｔパッカー車	2台
２ｔ平ボディ	1台
２ｔダンプ車	1台
１０ｔダンプ車	5台
４ｔユニック車	1台
４ｔコンテナ車	2台

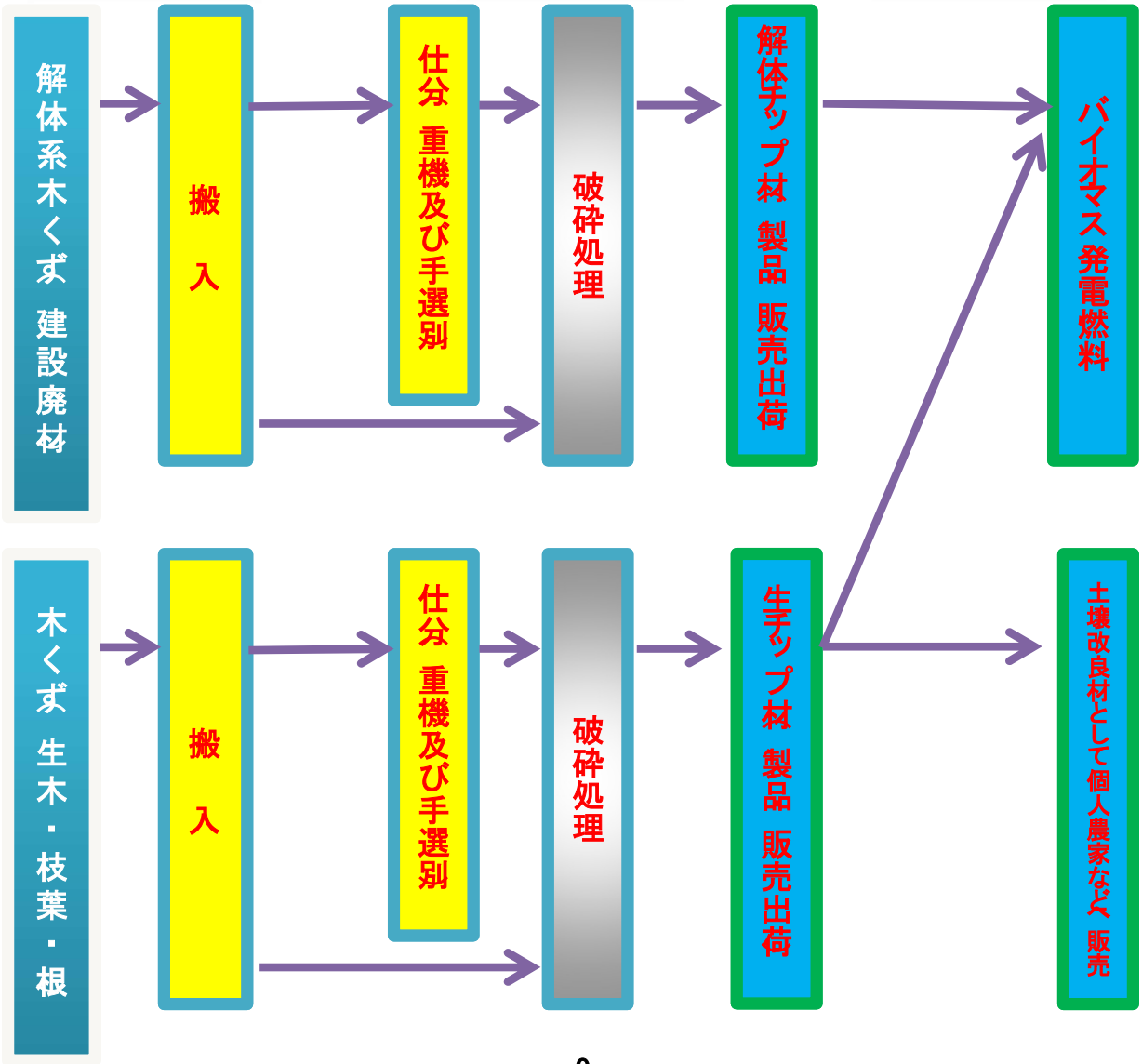
名称	台数
14㎥コンテナ	1基
12㎥コンテナ	2基
8㎥コンテナ	52基
2㎥コンテナ	11基

名称	台数	
	エコRCセンター	エコウッド
油圧ショベル	5台	3台
タイヤショベル	3台	1台
フォークリフト	1台	
破砕機	2台	1台
圧縮機	1台	

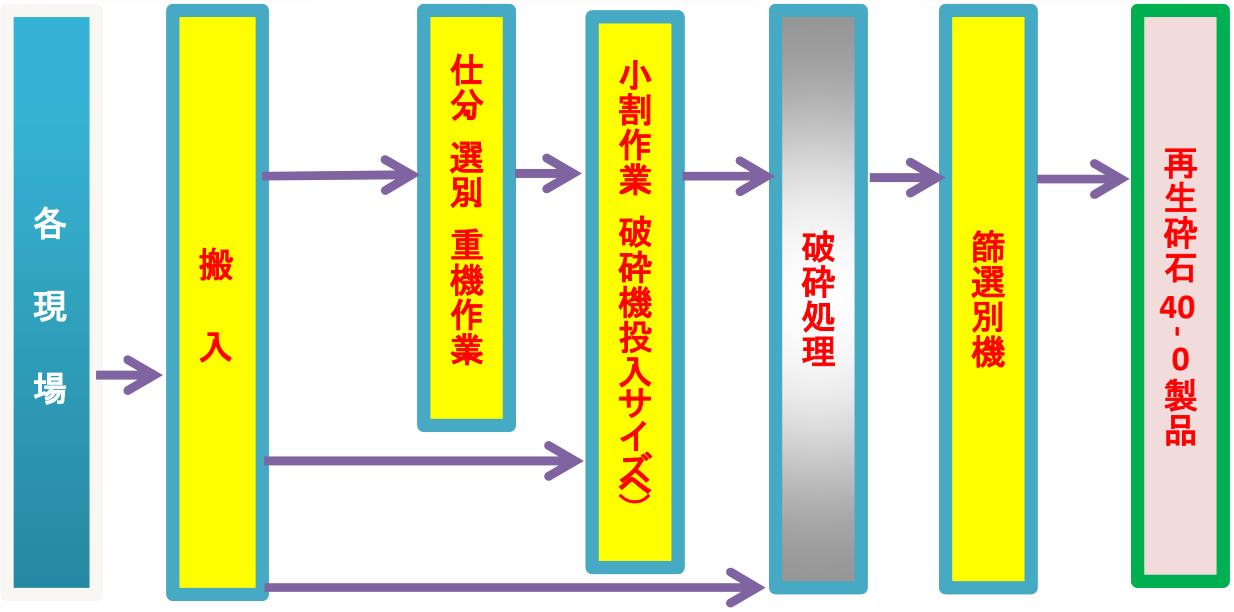
6.中間処理施設概要

設置場所	施設	処理能力	
エコRCセンター	破砕施設	がれき類	330t/日
	破砕施設	廃プラスチック類	17.81t/日
	破砕施設	紙くず	17.81t/日
	破砕施設	木くず	24.49t/日
	破砕施設	繊維くず	8.14t/日
	破砕施設	金属くず	16.77t/日
	破砕施設	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	21.20t/日
	破砕施設	がれき類	31.38t/日
	圧縮施設	廃プラスチック類	9.6t/日
	圧縮施設	紙くず	11.3t/日
	圧縮施設	繊維くず	11.3t/日
エコウッド	破砕施設	木くず	184t/日

7.中間処理の概要(木質チップ再資源化フロー)



8.中間処理の概要(再生砕石RC40-0　再資源化フロー)



■当社の製品：生･解体チップと再生砕石RC40-0

9. 環境経営計画
令和5年度～令和7年度

令和5年度からは下記の中期環境経営目標に基づいて活動を進めます。

項目			単位	基準年 令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和6年度 目標値	令和7年度 目標値
電気使用量	エコRCセンター	原単位	kWh/処理量		原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01
				1.17	1.16	1.15	1.14
		使用量	kWh/年	59,288	59,145	59,221	59,293
	エコウッド	原単位	kWh/処理量		原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01
				0.81	0.8	0.79	0.78
		使用量	kWh/年	9,969	9,901	9,875	9,848
	全社	使用量	kWh/年	69,257	69,046	69,096	69,141
燃料使用量	軽油(エコRCセンター) (破砕・重機)	原単位	L/処理量		原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01
				1.32	1.31	1.30	1.29
		使用量	L/年	66,390	66,793	66,946	67,095
	軽油(エコウッド) (破砕・重機)	原単位	L/処理量		原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01
				5.19	5.18	5.17	5.16
		使用量	L/年	63,640	64,110	64,627	65,147
	軽油 (収集運搬車)	原単位			原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01	原単位前年比 -0.01
			L/収集量	1.11	1.10	1.09	1.08
		使用量	L/年	75,595	75,604	75,665	75,721
	ガソリン	使用量	L/年		前年比△1%	前年比△1%	前年比△1%
				5,056	5,005	4,955	4,906
※1　二酸化炭素排出量		原単位	kg-CO2/ (処理量+収集量)	4.46	4.43	4.40	4.37
		排出量	kg-CO_2/年	582,880	584,705	586,529	588,337
水使用量(総排水量)		排水量	㎥/年		前年比△1%	前年比△1%	前年比△1%
				150	149	147	146
一般廃棄物削減		排出量	kg/年		前年比△1%	前年比△1%	前年比△1%
				490	485	480	475
処理量	エコRCセンター	中間処理量	t/年		前年比+1%	前年比+1%	前年比+1%
				50,482	50,987	51,497	52,012
	エコウッド	中間処理量	t/年		前年比+1%	前年比+1%	前年比+1%
				12,254	12,377	12,500	12,625
	処理場合計	中間処理量	t/年		前年比+1%	前年比+1%	前年比+1%
				62,736	63,363	63,997	64,637
収集運搬量 (RC運搬・チップ配達量含む)		収集運搬量	t/年		前年比+1%	前年比+1%	前年比+1%
				68,050	68,731	69,418	70,112
グリーン購入					チェックシートにて定性管理		

※1　電力の二酸化炭素排出量：　令和5年度は 0.451kg-CO2/kWh(東京電力 2021年度 調整後排出係数を使用)

※2　化学物質の使用はありません。

10.令和6年度　活動実績と評価

環境目標

項目			単位	目標値	実績値	達成率	コメント
電気使用量	エコRCセンター（外野）	原単位	kWh/処理量	1.15	0.93	123.7%	電気使用量は目標達成率93.1%、原単位目標は123.7%で効率的な運用ができた。しかしながら、大規模解体が多く発生し、ガラの搬入が過去最高であったそのためエコRCセンターの使用量が目標よりも大分悪かったため全体の目標未達成であった。また、エコウッドは使用量、原単位とも目標未達成。目標の再考が必要。
		使用量	kWh/年	59,221	63,634	93.1%	
	エコウッド（奥山）	原単位	kWh/処理量	0.79	0.98	80.6%	
		使用量	kWh/年	9,875	10,790	91.5%	
	全社	使用量	kWh/年	69,096	73,694	93.8%	
燃料使用量	軽油(エコRCセンター)（破砕・重機）	原単位	L/処理量	1.30	0.93	139.8%	エコＲＣセンターは軽油使用量は目標達成率104.8%、原単位は目標達成率139.8%と処理量は増加し、その影響で使用量は増加したが、原単位は目標達成でき効率的な運用ができた。 エコウッドは軽油使用量は目標達成率100.4%原単位は目標達成率88.8%目標に対し効率的な運用ができなかった。 車両部門は軽油使用量は目標達成率69.4%原単位は目標達成率86.5%と産廃収集量の増加とRC横持運搬増加で軽油使用量、原単位共に目標未達成であった。目標の再考が必須。
		使用量	L/年	66,946	63,851	104.8%	
	軽油(エコウッド)（破砕・重機）	原単位	L/処理量	5.17	5.82	88.8%	
		使用量	L/年	64,627	64,377	100.4%	
	軽油（収集運搬車）	原単位	L/収集・販売量	1.09	1.26	86.5%	
		使用量	L/年	75,665	109,010	69.4%	
	ガソリン	使用量	L/年	4,955	4,840	102.4%	
原単位			kg-CO2	4.40	4.01	109.7%	CO2排出総量は目標達成率88.3%、原単位は目標達成率109.7%。産廃収集量の大幅増加、エコRCセンターの処理量の増加、エコウッドの処理量の増加などあったが原単位目標はクリアしたものの排出量は未達成であった。
※1 二酸化炭素排出量			kg-CO2/年	586,529	664,196	88.3%	
水使用量(総排水量)			㎥/年	147	109	134.7%	目標に対して使用量は減少したが、構内は散水車を使用し粉塵防止を行った。
一般廃棄物削減		排出量	kg/年	480	475	101.1%	目標達成今後も分別と再利用を心がけ、裏紙使用も徹底させたい。
処理量	エコRCセンター	中間処理量	t/年	51,497	68,521	133.1%	処理量は全体で目標達成率124.3% エコRCセンターの搬入量は激増したが、エコウッドの搬入量は減少した。特にガラが多く目標達成に大きく貢献した。
	エコウッド	中間処理量	t/年	12,500	11,052	88.4%	
	処理場合計	中間処理量	t/年	63,997	79,573	124.3%	
運搬量		産業廃棄物	t/年	10,318	20,286	196.6%	産業廃棄物収集運搬量の目標達成率は196.6%、大規模解体工事のがら運搬が大きく影響した。また、RC配達も 111.9%と貢献した。
		一般廃棄物	t/年	1,130	1,086	96.1%	
		有価物（RCチップ）	t/年	57,970	64,840	111.9%	
グリーン購入			チェックシートにて定性管理を行った。				

※1　電力の二酸化炭素排出量は 0.398kg-CO2/kWh(東京電力2023年度実排出係数)を用いています。

11. 環境活動計画

令和5年度～令和7年度

区分	項目	環境活動の取組施策	責任者
二酸化炭素の削減	電気使用量の削減（工場）	① 均一な破砕機投入で、モーターの負荷を最小限にする。	中間処理部門長
		② ブレーカーを日々OFFにする。	
		③ コンベアベルト接触部分の点検整備を行う。	
		④ 休憩室不在時、照明及びエアコン電源をOFFにする。	
	電気使用量の削減（事務室）	① 節電告知ラベルの貼付	事務部門長
		② エアコン省エネ設定運転	
		③ 不必要な照明消灯及び減灯	
		④ クールビズ・ウォームビズの展開	
		⑤ 節電製品・機器への切替	
		⑥ 高効率タイプ(LED）照明器具への切替	
		⑦ ブラインド、カーテンの利用による熱出入りの調整	
	軽油・ガソリン使用量の削減	① 車輌エコドライブ（アイドリングストップ）	収集運搬部門長
		② 搬送時の効率的なルートの選択、待機時間の短縮	
		③ 一般道は60km以下で走行	
		④ タコグラフ管理による安全・エコ運転徹底	
		⑤ 早めのシフトチェンジでエンジン回転数を1500回転以下にする。	
		⑥ 燃費管理データ収集	
		⑦ ドライブレコーダー導入による事故防止と省燃費運転	
		⑧ 作業に適した重機を使用し、過負荷の防止をする。	中間処理部門長
		⑨ ラジエ-ター、フィルターのエア-ブローを細目に実施する。	
		⑩ 暖機運転、冷機運転以外のアイドリングストップ	
		⑪ 手選別作業時は重機のエンジンを停止する。	
		⑫ 切断機刃の摩耗確認と早めの交換実施。	
		⑬ 重機の各グリスアップを適宜行う。	
		⑭ エコモード作業を行う。	
		⑮ 重機の効率的な使用（アイドリングストップ）	
リサイクル	再生品の拡大	① 搬入廃棄物、出荷再生品の計測管理、搬出入管理	中間処理部門長
		② 再生砕石やチップなど自社製品の品質向上。	
		③ 最終処分量削減のため、手選別作業の改善と分別作業の標準化を行う。	
		④ 優良産廃処理業者の早期認定	管理責任者
一般廃棄物の削減		① 裏紙の積極使用	事務部門長 管理責任者
		② ビン・缶等の分別回収ボックスの適正配置	
		③ 発生したごみは可能な限り圧縮等を行い減量化	
グリーン購入他		① エコマーク文房具の購入拡大	事務部門長
		② 修理可能な製品の優先購入	各部門長
		③ 工場内の5Sの徹底、安全パトロール強化	管理責任者
		④ 事業所周辺の環境や生き物の保全活動	
		⑤ アルコールチェッカーによる飲酒検査	

12.環境活動結果

区分	項目	環境活動の取組施策	責任者	評価
二酸化炭素の削減	電気使用量の削減（工場）	① 均一な破砕機投入で、モーターの負荷を最小限にする。	中間処理部門長	○
		② ブレーカーを日々OFFにする。		○
		③ コンベアベルト接触部分の点検整備を行う。		○
		④ 休憩室不在時、照明及びエアコン電源をOFFにする。		○
	電気使用量の削減（事務室）	① 節電告知ラベルの貼付	事務部門長	○
		② エアコン省エネ設定運転		○
		③ 不必要な照明消灯及び減灯		○
		④ クールビズ・ウォームビズの展開		○
		⑤ 節電製品・機器への切替		○
		⑥ 高効率タイプ(LED）照明器具への切替		○
		⑦ ブラインド、カーテンの利用による熱出入りの調整		○
	軽油・ガソリン使用量の削減	① 車輌エコドライブ（アイドリングストップ）	収集運搬部門長	○
		② 搬送時の効率的なルートの選択、待機時間の短縮		○
		③ 一般道は60km以下で走行		○
		④ タコグラフ管理による安全・エコ運転徹底		○
		⑤ 早めのシフトチェンジでエンジン回転数を1500回転以下にする。		○
		⑥ 燃費管理データ収集		○
		⑦ ドライブレコーダー導入による事故防止と省燃費運転		○
		⑧ 作業に適した重機を使用し、過負荷の防止をする。	中間処理部門長	○
		⑨ ラジエ-ター、フィルターのエア-ブローを細目に実施する。		○
		⑩ 暖機運転、冷機運転以外のアイドリングストップ		○
		⑪ 手選別作業時は重機のエンジンを停止する。		○
		⑫ 切断機刃の摩耗確認と早めの交換実施。		○
		⑬ 重機の各グリスアップを適宜行う。		○
		⑭ エコモード作業を行う。		○
		⑮ 重機の効率的な使用（アイドリングストップ）		○
リサイクル	再生品の拡大	① 搬入廃棄物、出荷再生品の計測管理、搬出入管理	中間処理部門長	○
		② 再生砕石やチップなど自社製品の品質向上。		○
		③ 最終処分量削減のため、手選別作業の改善と分別作業の標準化を行う。		○
		④ 優良産廃処理業者の早期認定	管理責任者	○
一般廃棄物の削減		① 裏紙の積極使用	事務部門長 管理責任者	○
		② ビン・缶等の分別回収ボックスの適正配置		○
		③ 発生したごみは可能な限り圧縮等を行い減量化		○
グリーン購入他		① エコマーク文房具の購入拡大	事務部門長	○
		② 修理可能な製品の優先購入	各部門長	○
		③ 工場内の5Sの徹底、安全パトロール強化	管理責任者	○
		④ 事業所周辺の環境や生き物の保全活動		○
		⑤ アルコールチェッカーによる飲酒検査		○

産廃優良認定取得。

13　環境への取組の自己チェック結果

取組事項		令和6年度			
		評価項目	評価点	満点	達成率
1.廃棄物処理事業活動	①受託、または受領した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	12	66	68	97%
	②産業廃棄物の処理などにおける環境配慮	14	81	84	96%
1項平均		26	147	152	97%
1.事業活動インプット	①省エネルギー	11	58	62	94%
	②省資源	8	44	46	96%
	③水の効率的利用	3	18	18	100%
1項平均		22	120	126	95%
2.事業活動アウトプット	①CO2抑制・大気汚染防止	3	18	18	100%
	②廃棄物等の排出抑制・リサイクル、適正処理	14	76	80	95%
	③排水処理	3	18	18	100%
	④その他生活環境に係る保全の取組など	2	6	8	75%
2項平均		22	118	124	95%
3.製品サービス	①グリーン購入	4	16	18	89%
	②環境に配慮した物品購入	4	24	24	100%
3項平均		8	40	42	95%
4.その他	①環境コミュニケーション及び社会貢献	4	24	24	100%
4項平均		3	18	18	100%
総合達成状況		81	443	462	96%

※評価項目はチェック対象項目数

■取組結果のまとめ

1. 事業活動インプット：省エネに更に取り組む必要がある。達成率を100%にし、それを継続する必要がある。省資源についても同様。節水はもう一歩の処にある。
2. 事業活動アウトプット：オフィスごみの排出抑制、リサイクルに常時心掛けたい。産業廃棄物等の適正処理についても排出事業者と連携し、3Rを推進したい。
3. 製品及びサービスにおける環境配慮：グリーン購入は実施出来ている。事業活動に於ける環境配慮は、エコドライの励行等を自らの目標に掲げ、実行することで効果は更に上がると考える。再生砕石やチップ製品の商品品質の向上も取組の重要な要素にしたい。
4. その他：社員全員が社会貢献活動に積極的に参加することで、地元地域にアピールをする。

14.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

■令和7年4月30日に於いて、環境関連法規等の違反、訴訟はありません。
■なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間なく、訴訟等もありません。
■当社に関係する環境関連法規は下記の通りです。
➢廃棄物処理法　➢騒音規制法・振動規制法　➢消防法　➢自動車ＮＯｘ・ＰＭ法➢オフロード法➢ 道路運送車両法➢ 道路交通法➢ 労働安全衛生法➢ 貨物自動車運送事業法

15.社長による全体評価と見直し

（令和5年6月1日本社にて実施　社長及び環境管理責任者）

報告項目	管理責任者からの報告内容	評価
環境経営システム構築	エコアクション 21 は順調に活動を進めている。開始して凡そ 8 年経過したが、現在の推進体制、環境経営システムを変更する必要はないと判断します。	○
環境経営目標	大規模解体が各所で行われエコ RC センターの搬入量が激増した。一方、エコウッドは通年を通して搬入量は伸び悩み、目標に対し 88.4%であった。これに伴いエコ RC センターは電気・軽油とも大幅に増加したが原単位は目標を達成し、効率的な業務ができた。又、エコウッドは処理量減少したが効率的な業務もできなかった。特に電気使用量は全体的な目標に対し足を引っ張結果になり、来期は目標の再考が必要。軽油使用量は微増であったが原単位目標はエコＲＣセンターは目標を達成したがエコウッドは未達成であった。収集運搬車両は使用量、原単位とも大幅に目標に届かなかった。目標の再考が必要。ガソリンは使用料、原単位共に目標を達成した。	○
環境関連法規制	環境法規制登録一覧表に該当条文名と順守内容を明確にし、遵守体制を整備した。他の法令の順守も問題なかった。	○
外部からの苦情・要望	環境に関わる苦情や指導等はありませんでした。	○
緊急事態の想定及び訓練	工場にて重機からの油漏れ対応訓練を実施した。重機による事故は重大になることが多いので定期的な講習や実践で安全意識の向上を図りたい。	○
是正及び予防処置の状況	環境目標の達成状況6ヶ月連続未達成で環境管理責任者が必要と認めた場合は是正処置発令としています。令和6年度は是正処置ありませんでした。	○
社長からの指示	エコウッドに念願であった新しい破砕機が導入された。作業効率も格段に上がったことから、更なる効果を期待する。全体的な搬入量が激増した中、無事故で終えたことは大いに評価します。大規模解体の影響で搬入量が極端に増加したが、３ヶ年目標の最終年、今後、さらなる取り組みを期待します。	

■変更の必要性の有無

①環境方針	変更なし	令和元年 5 月 1 日付の環境経営方針から変更はなし。
②環境目標	変更あり	中期環境経営計画(令和 5 年 5 月改定)に基づき取り組むこと。
③環境活動計画	変更なし	中期環境経営計画に基づき活動を継続すること。
④環境経営システム	変更なし	活動の見える化と全員参加の活動を推進すること。

16.地域貢献活動

17.エコアクション21感謝状

感謝状

千葉美装株式会社 様

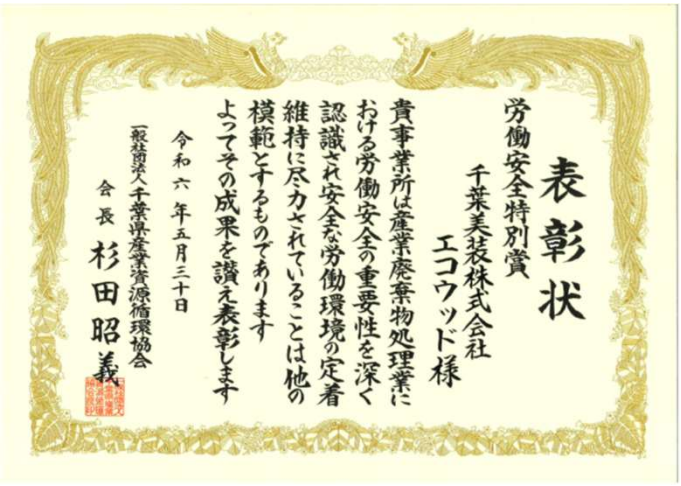
貴組織は長年にわたり環境省が策定したエコアクション21により環境経営に取り組まれましたよってここに感謝の意を表します

二〇二四年度

一般財団法人持続性推進機構
エコアクション21中央事務局
理事長 森本 英香

エコアクション21

18.労働安全特別賞



表彰状

労働安全特別賞
千葉美装株式会社
エコウッド様

貴事業所は産業廃棄物処理業における労働安全の重要性を深く認識され安全な労働環境の定着維持に尽力されていることは他の模範とするものであります
よってその成果を讃え表彰します

令和六年五月三十日

一般社団法人千葉県産業資源循環協会
会長 杉田昭義

表彰状

労働安全特別賞
千葉美装株式会社
エコRCセンター様

貴事業所は産業廃棄物処理業における労働安全の重要性を深く認識され安全な労働環境の定着維持に尽力されていることは他の模範とするものであります
よってその成果を讃え表彰します

令和六年五月三十日

一般社団法人千葉県産業資源循環協会
会長 杉田昭義

19.ごみゼロ運動新聞掲載

5月30日はごみゼロの日

5R

環境のために今、私たちに出来ること。

ごみ減量・リサイクル推進週間 5月30日(木)～6月5日(水)

6月5日世界環境デー
6月は環境月間です

鉄くず・不用品 引き取ります!!
金属くず 廃棄物 古農機 粗大ごみ
不用品引取り、持ち込み大歓迎!
㈱木村仙吉商店 ☎0470-47-2157

買取、引取、処分
捨てる前にお電話ください!!
☎0470-24-9700

引越し・遺品整理で出る粗大ゴミ
有大栄商事

お困りごとご相談下さい
かたづけ・不用品処理
ハウスクリーニングetc
全部おまかせ!
鹿山商事株式会社 ☎0470-27-5691

環境循環型社会の実現に貢献します!
千葉美装株式会社

廃棄物回収なんでもお任せ!!
家財道具の片付け
引越しに伴うゴミ
遺品整理
有房州リサイクル TEL 0470-36-1550